

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	明治産業株式会社					
代表者名	氏名	中野 洋	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野県須坂市高梨288					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	09 食料品製造業				
主たる事業の概要	キャンデー・錠菓・ガムの菓子製造					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	2,177	2,105	1,643	1,617	
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	4,029	3,896	3,058	2,992	
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	
自動車の台数	台	2		2	2	
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	0				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度
------	------	----

計画期間	2020	年度～	2022	年度
------	------	-----	------	----

報告対象年度	2021	年度
--------	------	----

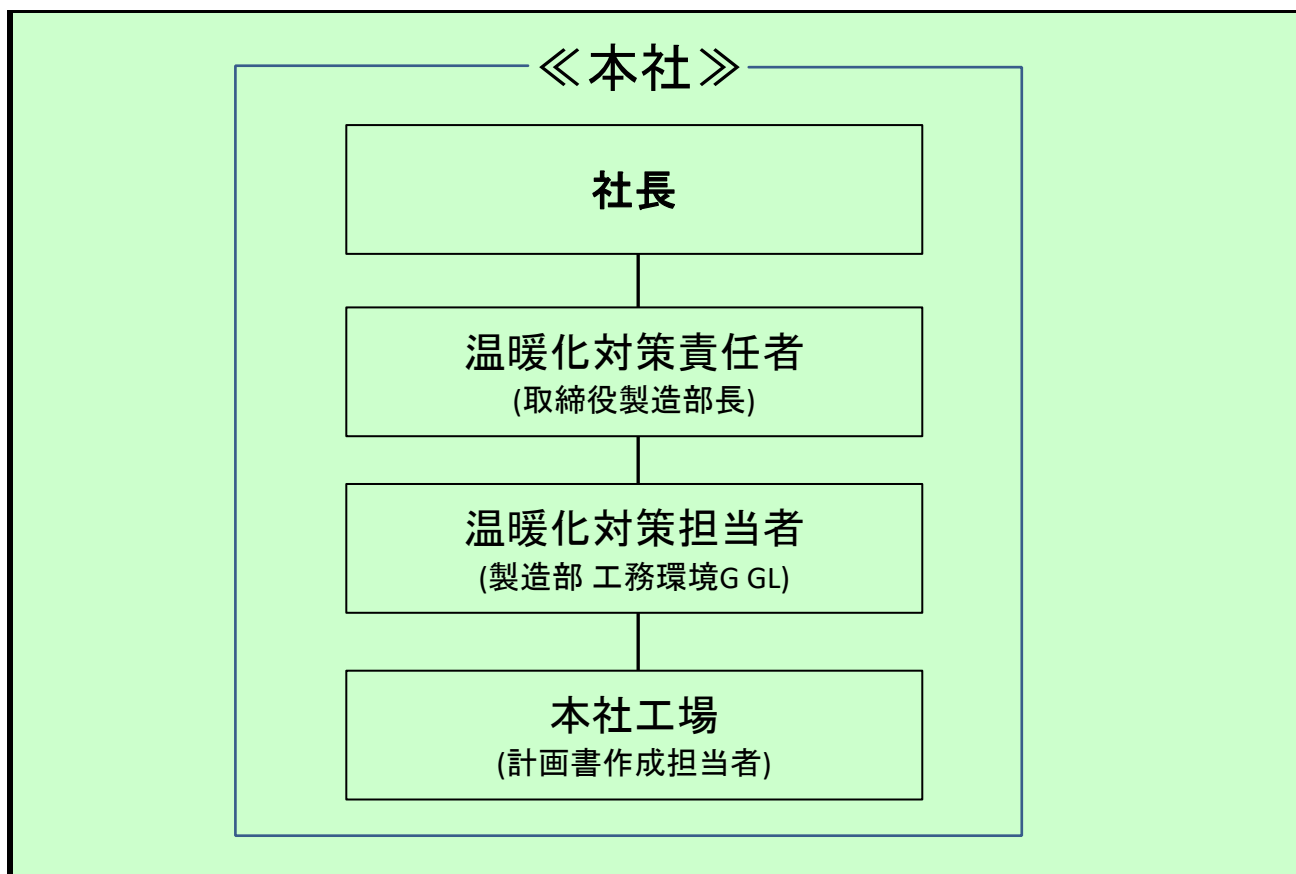
3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	場所：明治産業株式会社 工務棟 時間：平日8:00～17:00 担当部署：製造部工務環境G 電話番号：026-246-1122(代表)
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

- ・省エネ法に基づく削減目標を定め、省エネルギー活動を推進する。
企業活動での省エネルギー、省資源と廃棄物削減に努める

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

- ・環境委員会 (毎月開催)
- ・ISO14001推進員会議 (2回/年 開催)
- ・ISO14001内部監査 (1回/年)

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	4,029	t-CO ₂	生産金額	49.24	単位	億円
2019年度	調整後排出量	4,029	t-CO ₂	基準原単位	81.82	t-CO ₂ /	億円
目標年度	目標排出量	3,896	t-CO ₂	目標原単位	79.12	t-CO ₂ /	億円
2022年度	目標削減率	3.30	%	目標削減率	3.30	%	
目標設定に関する説明	省エネ法に合わせ、3年間で年平均1%以上の削減目標とし合計3.3%を達成する。						
第一年度	排出量	3,058	t-CO ₂	生産金額	33.14	単位	億円
	削減率	24.10	%	原単位	92.28	t-CO ₂ /	億円
2020年度	調整後排出量	3,058	t-CO ₂	原単位削減率	-12.79	%	
	削減率	24.10	%				
排出量等の増減理由	2020年度新型コロナウイルスCOVID-19の影響により生産が大きく減少した。2号館2階エリアの全ライン撤去し新ラインに入れ替えたが上記理由と重なりほとんど稼働がない状態が続いた。省エネ施策として、蒸気主要3ラインのカレンダータイマ制御により必要な時のみ蒸気供給をする事で削減につながった。省エネ施策以上に生産金額が落ちた為、原単位は悪化してしまった。						
第二年度	排出量	2,992	t-CO ₂	生産金額	38.91	単位	億円
	削減率	25.73	%	原単位	76.90	t-CO ₂ /	億円
2021年度	調整後排出量	2,992	t-CO ₂	原単位削減率	6.01	%	
	削減率	25.73	%				
排出量等の増減理由	2021年度は生産が戻りつつあり、原単位が大きく改善された。元々空調等非生産エネルギー割合が多いことから、生産金額が増加しても排出量が大きく増加しなかった。加えて昨年までの省エネルギー対策の継続、温湿度管理の徹底や照明のLED化により生産金額増でも排出量減という結果となっている。						
第三年度	排出量		t-CO ₂	生産金額		単位	
	削減率		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2019年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	320208	蒸気ヘッドコントロール制御(1号館)	2020	47.12	2020	140.48
2	エネ起	350699	受変電設備更新	2020	12.55	2020	11.83
3	エネ起	380752	2号館照明LED化	2020	6.58	2020	6.21
4	エネ起	360751	コンプレッサ更新 台数制御化	2021	43.10		
5	エネ起	170303	太陽光発電導入	2022	68.62		
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光発電	kW	0	63	0	0	

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績

(所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	1	4,029	1	3,058	1	2,992		
1,500k1未満								
合計	1	4,029	1	3,058	1	2,992		

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績

(t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況

(台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)		1	1	
合計	0	1	1	0
自動車総数	2	2	2	
次世代車導入割合		50	50	

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	特になし
自転車の利用促進	特になし
来客者の交通対策	特になし
物流の合理化	生産予定を把握し、空荷を最小限とする出荷を行っている

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		実施年度
	実施内容		
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	名称	ISO14001	2018年度
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input type="checkbox"/> その他			

1.5 自由記載欄

<ul style="list-style-type: none"> ・排水処理における希釈水コントロールにより、井水使用量を削減。 ・省エネ・節電コントロールを適宜実施。 ・ISO14001活動メンバーによる現場の省エネ活動推進。 ・製造・包装ライン停止時の空調運転台数見直しによる電力使用量削減。 ・空調設定温湿度見直しによる電力量削減。
--